

平成28年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

<b>事業名</b>	医療計画に関する見直し等の検討・推進支援経費			<b>担当部局</b>	医政局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	平成22年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	地域医療計画課 医師確保等地域医療対策室		室長：伯野 春彦		
<b>会計区分</b>	一般会計								
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	医療法第30条の4、第30条の6、第30条の8			<b>関係する計画、通知等</b>	平成24年3月30日医政発0330第28号「医療計画について」平成24年3月30日医政指発0330第9号「疾病又は事業及び在宅医療に係る医療体制について」等				
<b>主要政策・施策</b>	-			<b>主要経費</b>	その他の事項経費				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	都道府県の医療計画について、計画の実効性を確保するための支援を行うことにより、都道府県が自ら評価し必要な見直しを実施できるようにすることを目的とする。								
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	都道府県の医療計画について都道府県が自ら評価し必要な見直しを実施することを支援するため、検討会を開催し、医療計画の評価等を行うための有効な指標の検討や、必要なデータの集計・可視化や支援ソフトの開発を行い、都道府県に提供等を行う。								
<b>実施方法</b>	直接実施								
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	19	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	34	52	36	51	0		
	執行額	31	40	25					
	執行率(%)	91%	77%	69%					
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
	都道府県が医療計画の一部である地域医療構想を29年度までに策定する。(27年度から策定開始)	地域医療構想を策定した都道府県数	成果実績	県	-	-	12	-	-
			目標値	県	-	-	20	-	47
			達成度	%	-	-	60	-	-
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	検討会・研修会回数	活動実績	回	4	11	13	-		
		当初見込み	回	10	10	18	15		
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	データブック作成数(25年度から)	活動実績	枚	122	50	100	-		
		当初見込み	枚	122	50	100	100		
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	策定支援ツール作成数(26年度限り)	活動実績	枚	-	50	-	-		
		当初見込み	枚	-	50	-	-		
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	X/Y X:「執行額」 Y:「検討会・研修会回数」	単位当たりコスト	円	500,000	636,364	461,538	466,666		
		計算式	X/Y		2,000,000/4	7,000,000/11	6,000,000/13	7,000,000/15	
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	X/Y X:「執行額」 Y:「データブック作成数」	単位当たりコスト	円	237,705	280,000	188,000	174,000		
		計算式	X/Y		29,000,000/122	14,000,000/50	18,800,000/100	17,400,000/100	
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	X/Y X:「執行額」 Y:「策定支援ツール作成数」	単位当たりコスト	円	-	380,000	-	-		
		計算式	X/Y		-	19,000,000/50	-	-	
平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	4							
	職員旅費	1							
	委員等旅費	2							
	庁費	6							
	社会保障関係情報化業務	0							
	庁費								
	保健福祉調査委託費	38							
計	51	0							

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること								
	施策	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標I-1-1)								
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
			実績値	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	地域医療構想策定研修等を行うことにより、都道府県の地域医療構想策定をサポートすることとなり、平成28年度中に全都道府県が地域医療構想を策定できるようにする。また、医療計画の評価等を行うための有効な指標の検討や必要データの集計、支援ソフトの改訂を行い、都道府県にデータを提供することにより、病床の機能分化・連携が促進される。									
	アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	社会保障	-					
		KPI (第一階層)	2016年度末までに地域医療構想を策定した都道府県の数	成果実績	県	-	12	-	-	-
				目標値	県	-	20	47	-	47
達成度				%	-	60	-	-	-	
KPI (第一階層)		地域医療構想の2025年における医療機能別(高度急性期、急性期、回復期、慢性期)の必要病床数に対する都道府県ごとの進捗率	成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
地域医療構想策定研修等を行うことにより、都道府県の地域医療構想策定をサポートすることとなり、平成28年度中に全都道府県が地域医療構想を策定できるようにする。また、医療計画の評価等を行うための有効な指標の検討や必要データの集計、支援ソフトの改訂を行い、都道府県にデータを提供することにより、病床の機能分化・連携が促進される。										
<b>事業所管部局による点検・改善</b>										
要投入の必	項目			評価	評価に関する説明					
	国費投入の必	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	都道府県が医療計画を自ら評価し見直しをするための支援であるため国費を投入する必要がある。				
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	都道府県が医療計画を自ら評価し見直しをするための支援であるため、国が行う必要がある。				
		政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	医療計画が実行性の高いものとするため、優先度は高い事業である。				
	事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			△					
		一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無	企画競争で行われているが、支出先の選定は妥当に行われている。				
		競争性のない随意契約となったものはないか。			無					
		受益者との負担関係は妥当であるか。			-					
		単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	前年の実績等に依じた経費を計上しており妥当である。				
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-					
事業の有効性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	医療計画の支援に係る検討会やデータ集計・可視化、ソフト開発など必要最小限のものに限定している。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	地域医療構想作成研修が当初の予定より少ない回数で終了したため。					
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-						
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			-						
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-						
関連事業	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	活動実績は、見込み見合ったものになっている。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	今後、都道府県が医療計画を策定し、進捗管理を行う手助けとなるツールとして活用が見込まれる。					
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-						
点検・改善結果	点検結果	平成27年度から都道府県が策定を開始している地域医療構想の策定支援のため、平成27年度は13回の研修等を行った。また、医療計画の評価等を行うための有効な指標の検討や必要データの集計、支援ソフトの改訂を行った。都道府県は平成28年度中に地域医療構想を策定し、平成29年度から次期医療計画の策定に取りかかることとなる。								
	改善の方向性	医療計画作成支援データブックを活用して、都道府県が、医療計画の実効性を確保できるよう、引き続き事業を進めて行くとともに、平成29年度頃から都道府県が策定する次期医療計画の策定支援のため、指針の見直し検討会を行う必要がある。								

外部有識者の所見

--	--

行政事業レビュー推進チームの所見

--	--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

--	--

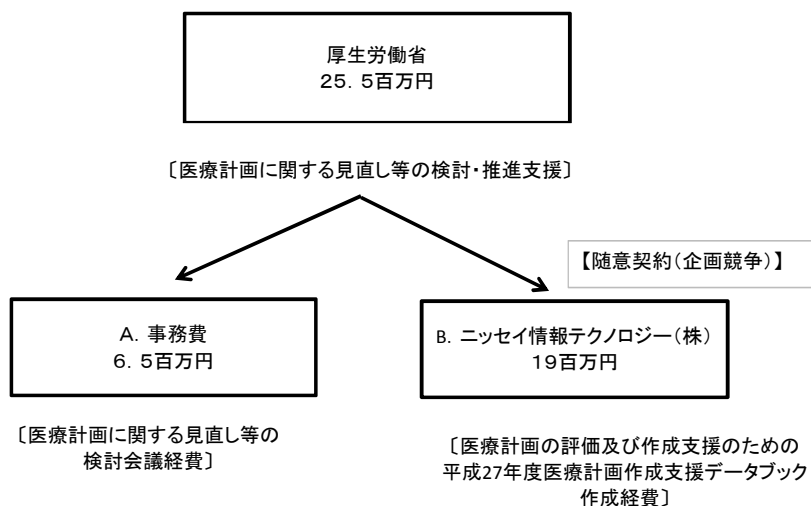
備考

--	--

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	835	平成24年度	733		
平成25年度	23	平成26年度	22	平成27年度	20		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

